

Short-term Study Abroad Program in Economics (CHN)

2025 年度 募集要項（中国）

立教大学 経済学部

I プログラムの概要について

1 ねらい

中国の大学において、中国語研修、中国語による中国経済の講義、および企業の訪問調査を通じて、中国語の語学力を向上させるとともに、急成長する中国経済の実態と企業経営について把握することを目標とする。

2 内容

事前学習として、中国に関する映像資料の鑑賞、中国経済と企業経営に関する資料の輪読などを通じて中国と中国語に関する理解を深めるとともに、中国経済・経営に関する知識を習得する。中国での研修中（3週間）は、前半では上海の華東師範大学において、中国語と中国文化・経済講義を受ける。後半では、中国に進出している日系企業の訪問調査を実施し、中国語能力と中国経済・経営に関して習得した知識をさらに強固なものにする。

- ① 事前研修（100分×14回程度）：
- ② 海外研修：2026年3月7日（土）～3月29日（日）（日本発着）
 - ・語学研修（2時間×1日+4時間×14日=58時間）
 - ・中国経済等についての授業（1時間×4=4時間）
 - ・企業等の見学やワークショップ（3時間×3日=9時間）
 - ・帰国後の最終レポート提出

3 海外研修先

大 学 名： 華東師範大学 （立教大学・大学間協定校）
(<https://www.ecnu.edu.cn/>)
所 在 地： 中華人民共和国 上海市

4 宿泊先

宿泊先： キャンパス内 国際留学生寮

5 海外研修スケジュール [予定]

2026年3月7日（土） 東京/成田空港 発（韓国・ソウル/仁川国際空港経由で乗継）
同日昼に上海/浦東国際空港着

3月9日（月）～3月27日（金） 華東師範大学等で研修

3月29日（日） 上海/浦東国際空港 発（韓国・ソウル/仁川国際空港経由で乗継）

同日夜に成田空港着

6 開催形式

カスタマイズ型（基本的に立教大学生のグループで行動する）

中国への出入国時及び滞在中は基本的に団体で行動し、例外的な緊急事態を除き、個人都合による離脱や早期帰国は一切認めない。滞在中は担当教員及び受入先大学教職員の指示に従って行動すること。

7 募集人数

15名以上 原則20名まで（予定）

※定員を超える応募があった場合、履修希望者の面接を行う場合がある。

8 参加費総額（見込）

プログラム費用：50～60万円台見込 ※為替レートの変動等により費用が上がる可能性があります。

詳細はII. 3（3）「参加費総額」を参照。

9 集合および解散

成田空港集合・成田空港解散

II 「Short-term Study Abroad Program in Economics(CHN)」科目について

1 以下の科目として開講される。

経済学部「Short-term Study Abroad Program in Economics(CHN)」

経済学部生：科目区分：共通選択科目2の卒業要件単位

他学部生：所属学部の他学部履修の規程により履修

開講学期 秋学期

単位数 6単位

履修対象学生 経済学部、他学部ともに学部1～3年（学部4年生及び大学院生は参加不可）

2 履修登録について

（1）参加申込スケジュール

日程	時間	場所	事項・配布物
6/25（水）	12：35～ 13：15	＜対面開催＞ 会場：池袋キャンパス 8号館4階 8402教室	履修ガイダンス 参加申込手続に関する説明
出願受付：日 時： 6/26（木）～7/2（水）16:00 提出先： こちらのフォーム 上に必要事項を全て記入し、以下の書類データをアップロードすること。 出願書類：・ 出願理由書 （直筆で記入の上、PDFファイルで提出してください） ・成績証明書（成績参照システムをPDFファイルで提出してください） 1年生は提出不要 ※成績参照画面をPDFにする方法は こちら から確認してください。			

7/9(水)	12:00	経済学部 WEB掲示板	選考結果（履修者）発表・ 履修登録状況画面の更新： 9月3日（水）10：00
初回授業 9/26（金）	2限、池袋キャンパス10号館2階 X209教室		第1回事前講義
10月上旬 事前講義で案内			旅行代金の案内と振込 現地プログラム費用の案内と 振込

【注意事項】 1) 履修許可者発表後の履修取消はできない。

2) 本プログラム事前講義が開講される曜日・時限に別科目の登録を行わないこと。

【二次募集を行う場合のスケジュール】

募集期間：7月9日（水）12：00 ～ 7月14日（月）16:00

結果発表：7月16日（水）15:00

履修登録状況画面の更新：9月3日(水)10:00

(3) 履修者の確定について

- ① 出願書類を提出した者のうち、出願理由書、成績証明書（成績参照システム画面のコピーで可）を総合的に評価して履修者を確定する。
- ② 選考結果発表(一次募集：7月9日(水)、(あれば) 二次募集：7月16日(水))の後、教務事務センターが履修登録を行う。所定の日時以降に履修登録状況画面(Web)で正しく登録されていることを確認すること(9月3日(水)10：00以降)。やむを得ない事情で研修に参加できない場合も履修登録の取消は一切できない。

3 応募要領

(1) 応募資格

- ① 2025 年度秋学期に、経済学部または他学部 1～3 年次に在学する者(学部 4 年次生及び大学院生不可)
- ② 海外での学習に意欲のある者
- ③ 事前研修参加が可能な者
- ④ 「Short-term Study Abroad Program in Economics(CHN)」の単位を未修得の者
※**同学期に募集をする「SSA（AUS）」には、併願できないので注意。**

(2) 出願書類

参加申込用Googleフォームに必要事項を記入し、フォーム経由で以下のデータをアップロードすること。

- ① 出願理由書
※**注意： AIが書いたものをそのまま提出せず、自分自身で作成すること。**
- ② 成績証明書（成績参照システムをPDFファイルで提出してください）
※成績参照画面をPDFにする方法は[こちら](#)から確認してください。

(3) 参加費総額： 50～60万円台見込 ※以下の内訳はあくまで予定です（変更の可能性あり）。

上記費用に含まれるもの： 語学学校授業料と教材費、宿泊費（食費除く）、航空運賃（航空券燃

油サーチャージ、空港施設使用料・現地空港税、空港保険料、旅行会社企画手数料を含む）、旅行会社によるビザ申請サポート費用、現地空港送迎費、アクティビティ参加費、

上記費用に含まれないもの：海外旅行傷害保険（大学指定の保険に加入）、超過手荷物料金、日本国内における自宅から発着空港までの交通費、パスポート申請料金、入国ビザ申請料、現地昼食代、現地滞在中の食費及び交通費、お小遣い、お土産代等

※注意：日本国籍者の場合、中国への入国に際しては、入国ビザ申請が必要になる（自己負担により別途費用の支払が必要）。ビザが交付されないと、中国での現地研修に参加できなくなる可能性があるため、ビザ申請手続に関する旅行会社からの指示に従い、提出書類等は定められた期日までに提出すること。その他の国籍者については、事前に相談すること。

※日本国内の感染症流行の拡大により、現地への渡航制限や滞在中の行動制限が発生するなど、結果的に研修地へ渡航できない可能性がある。その際のキャンセル費用や追加費用は自己負担とする。

（４）支払方法：銀行振り込み

- ① プログラム費用及び渡航費用(航空運賃等)は、期日までに委託旅行会社の銀行口座へ振り込むこと（12月～1月頃の方向で調整中）。
- ② 海外旅行傷害保険料は、所定の期日（1月を予定）までに大学が包括契約する保険会社代理店が指定する銀行口座に振り込むこと。
※費用振込の案内は事前講義にて配布する。

（５）海外研修辞退の違約金

履修登録後の参加辞退は認めない。やむを得ない事情により参加を辞退する場合でも、履修取消は行わない。また、辞退により発生する違約金・手数料等は辞退者が負担する。

辞退申し出先：学部事務2課(経済学部担当) 池袋キャンパス12号館4階

※注：2025年9月から、学部事務2課は池袋キャンパス12号館2階へ移転予定。

（６）保険

- ① 海外旅行傷害保険（海外研修期間中の死亡・疾病・傷害・損害賠償責任付）は、大学の指定した業者で加入手続きを行う。手続きは大学が一括して行う。
- ② 本プログラムは、学生教育研究災害傷害保険（全員加入済）の対象となる。
[正課・学校行事・学校に届け出た課外活動（いずれも海外を含む）に参加している間の事故による傷害に適用。「学生教育研究災害傷害保険のしおり」参照]

4 「Short-term Study Abroad Program in Economics(CHN)」の成績評価方法・基準について

（１）成績評価方法・基準

参加学生は、事前講義、及び中国における海外研修等全てに出席しなければならない。

- ① 事前講義における発表とディスカッションへの参加度合(30%)
- ② 研修先における授業出席度合と企業調査への取り組み(50%)
- ③ 調査課題のレポート報告(20%)

事前講義において、旅行会社や保険代理店による事務手続に関する説明がある回では、無断欠席や遅刻は厳禁とする。やむを得ない事由により、欠席または遅刻を余儀なくされる場合、事前に申し出ること。

(2) 成績評価は、秋学期科目として通知する。ただし通常の成績発表には間に合わないため、4月中旬以降、成績参照システム画面で確認すること。

(3) 成績評価調査について

成績評価調査申請期間については、経済学部 R Guideに掲示するので確認すること。

https://rguide.rikkyo.ac.jp/2025/c_eco/

(4) 最終レポートの提出要領

- ① テーマは、海外研修時に発表する。
- ② 提出期限：2026年3月31日（火）17：00
- ③ 提出方法：Campus LMS（授業支援システム）経由で提出する。

Ⅲ 奨学金について

本プログラムは立教大学グローバル奨学金および立教大学「校友会成績優秀者留学支援奨学金」の対象となる。申請資格等の詳細については学生部学生課で確認すること。

https://spirit.rikkyo.ac.jp/student_affairs/scholarships/SitePages/index.aspx

※「海外留学を支援する奨学金」参照。

Ⅳ 研修参加における誓約および了解事項

1. 本プログラムに参加する学生は、「Short-term Study Abroad Program in Economics (CHN) は、学生個人の自発的選択と責任において行なわれるべきものである。」ことを了解し、かつこの趣旨に関して、保証人の同意を得なければならない。
2. 渡航準備から帰国までを含む研修中の一切の行動は、学生個人の責任において行なわなければならない。
3. 渡航期間中、立教大学経済学部の責任に帰することができない事由、または本学および受入機関が管理し得ない状況のもとで発生した事故等により、自己に生じた損害または第三者に与えた損害については自己の責任において損害賠償責任その他の責任を負う。
4. 科目担当教員は、本プログラムの成果を上げるためのオリエンテーションおよび助言を随時行ない、相談に応じる。
5. 参加学生は、事前研修、及び中国における海外研修等全てに出席しなければならない。
6. 計画は、実施内容の検討により変更することがある。
7. 参加学生は、大学が包括契約を行う海外旅行傷害保険（死亡・傷害・疾病・損害賠償責任付）及び留学生サポートサービスに加入する。

8. 事前に内外の情勢によって渡航が危険であると判断された場合は、プログラムの実施を中止する。その場合には履修が取り消しとなる。
9. 本プログラムに参加する際に、身体面・精神面その他において特別な支援・配慮が求められる場合、受入教育機関との事前協議が必要となる可能性がある。そのため、特別な支援・配慮を必要とする学生は参加申込フォームの所定の欄に記入し、求められる支援・配慮内容に関して具体的に申告すること。また科目担当教員に対して、可能な限り早めに事前相談を行うことが望ましい。

V 科目担当教員

巖 成男（経済学部教授）

VI 問い合わせ先

学部事務2課（経済学部担当） Email: intl-eco@rikkyo.ac.jp

以 上